

第2回 RIDCマンスリー研究セミナー

古代国家の生存戦略

古典期コパンとマヤ文明圏南部周縁域における安定同位体分析の成果から

スピーカー

鈴木 真太郎

(岡山大学文明動態学研究所 講師)

日時：2021年6月30日(水) 12:00～13:00

オンライン開催

メキシコ以南の中央アメリカ諸国にはかつて古代マヤ文明が栄えていました。その南部地域における最大都市が、古典期という時代(紀元後400-800年頃)に最盛期を迎えたコパン(ユネスコ世界文化遺産)です。

本セミナーでは、この古典期コパンの考古学発掘で出土した66体の古人骨のストロンチウム、酸素、炭素の安定同位体比を分析しマヤ文化と非マヤ文化の間で揺れ動いた古代国家の生存戦略について明らかにしていきます。

2020年にJournal of Anthropological Archaeology(Q1)に掲載された英語論文をもとに学生や一般の方にもわかりやすく研究の内容を解説、紹介いたします。

申し込み先: ridc@okayama-u.ac.jp (申し込み締め切り: 6月29日12:00)

*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。

問い合わせ先: 文明動態学研究所 中谷文美 (nakatani@okayama-u.ac.jp)